



の がき 野垣あきこ とまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2025年1月8日 No.207

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

くらしに希望が持てる年に

2025年 都議選・参院選勝利に向けて今年も頑張ります!



新しい年の幕開け 今年もよろしく願います。

昨年の総選挙では、しんぶん赤旗が自民党の裏金問題をスクープし、与党を過半数割れに追い込みました。その後もしんぶん赤旗の申し込みが相次ぐなど、現役世代を中心に注目が集まっています。

野党の態度が問われる

新しい国会では選択的夫婦別姓や能登半島地震からの復興、学費無償化などの切実な国民要求を前進させるチャンスです。石破政権は少数与党となる中、補正予算を国民民主党や維新の

会を取り込んで成立させましたが、総選挙結果と全ての野党の姿勢が大きく問われるものです。

SNSをどう使いこなすか

一方で、テレビや新聞など既存のマスコミの選挙報道の姿勢に対して有権者は疑問を抱いており、デマや真実を覆い隠すようなSNSでの発信が選挙結果に大きく影響するという現象も現れています。

日本共産党は街頭宣伝や対話で政策を語るとともに、SNS対策を強化し、都議選・参院選に取り込む方針を打ち出しています。

裏金事件は未だ説明されず

この間、自民党東京都連の政治資金パーティーの収入未記載の問題が発覚しています。12月の参議院の政倫審でも裏金疑惑は説明されず、「目くらまし政倫審」と批判を浴びています。

24日から始まる通常国会でも、裏金事件の説明、企業・団体献金の禁止が熱い焦点となります。

参院でも与党過半数割れを

金権腐敗政治を一掃し、くらし

し・平和などの国民のねがいに応えるには、参議院でも与党多数の壁を打ち破ることが必要になってきます。新しい政治を実現するため、今年都議選・参院選と参議院選挙で日本共産党を躍進させてください。よろしく願います。

2月2日には原田あきら都議と一緒に、野垣地域の新春のつどいを行いますので、みなさんぜひご参加ください。



2025 党旗びらき

◀田村智子委員長のあいさつのYouTube動画(約35分)がご覧になれます。



フードドライブの常設窓口が区立施設に設置されています

杉並区では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）の削減と食品の有効活用を目的として、家庭で使いきれない食品（未利用食品）の常時受付窓口を設置しています。
未利用食品をフードドライブ常設窓口へ届けました



近所の方から相談を受けて

12月26日に、近所の方から「食べきれない食品があり物価高騰で大変な世帯や子どもたちに少しでも寄附できないか？」との相談があり、杉並区のフードドライブ事業を紹介しました。

「それはいい取組ですね」ということで、食品をお預かりし、阿佐ヶ谷地域区民センターの常設窓口（受付）に届けてきました。

フードドライブとは？

フードドライブとは、家庭で使いきれない食品を持ち寄り、福祉団体や施設などに提供する活動です。杉並区では提供いただいた未利用食品を区内の子ども食堂、

社会福祉協議会などで活用しています。

寄附できる食品は未開封で、包装・外装が破損していないもの、びん詰でないもの、冷蔵・冷凍が必要でないもの、医薬品（経腸栄養剤等）でないもの、賞味期限が2カ月以上あり、明記されているもの（国産米、塩等を除く）、商品説明に日本語の表記が

お近くのフードドライブ常設窓口

- ごみ減量対策課（杉並区役所西棟7階）
TEL03-3312-2111（代表）8時半～17時
 - 阿佐ヶ谷地域区民センター（阿佐ヶ谷北1-1-1）
TEL03-5356-9501 9時～21時
 - 井草地域区民センター（下井草5-7-22）
TEL03-3301-7720 9時～21時
- ※各施設の受付状況等は変更になる場合があります。電話でご確認の上お持ちください。



あるものになります。未利用食品がありましたら上記の区立施設で受け付けていますので、連絡してお持ちください。フードドライブ事業の詳細はこちら▼



小田急線下北沢駅

地下化フィールドワーク

2025年

1月15日(水)

午前10時 下井草駅改札集合

参加費無料。往復の電車代などは各自負担。ガイド・西武新宿線の地中化を要望する会主催・あきこサポーターズS・I



あきこの部屋

みなさん、このお正月はゆっくり過ごせたでしょうか。昨年の年始は能登半島の震災や羽田空港での航空機衝突事故があり、「おめでとつ」と挨拶するの

も憚られるような状況でした。私は父親と映画「はたらく細胞」を観てきました。「翔んで埼玉」の監督の作品でギャグ要素も色濃くありましたが、70代の父もそれなりに？楽しんでいましたよ。昨年観た映画で良かったのは「花嫁はどこへ？」

というインド映画と「ゴンドラ」というドイツとジョージアの合作映画です。この2本は、たまたま休みの日の都合のいい時間に映画館でやっていたもので、少し大袈裟かも知れませんが一期一会という感覚があります。年末年始にTVで再放送していた「孤独のグルメ」は今秋から劇場版が始まります。単純で多世代が楽しめる作品なので観てみたいですが、ミニシアターでの社会的な作品も楽しみです。